

# 干潟のヤドカリ類の見分け方 ～大きいハサミはどっち？～

あなたがつかまえたそのヤドカリ ハサミが大きいのはどっちだ？

左が大きい



貝殻に引っ込むと  
ハサミの可動指が  
上を向く

**テナガツノヤドカリ**

両方とも大きい



**コブヨコバサミ**

右が大きい



貝殻に引っ込むと  
ハサミの可動指が  
下を向く

**ユビナガホンヤドカリ**

※このシートは市民調査で見られる代表的なヤドカリ類3種を対象としています

# ヤドカリ類の見分け方 ～もっと細かく見てみよう～

## ユビナガホンヤドカリ

*Pagurus minutus*

体長 約3cm  
干潟のヤドカリの代表種

- ◆触覚が糸状で白い斑点がある



- ◆ハサミの手の甲が長い



- ◆前節より長い指節(名前の由来)



## テナガツノヤドカリ

*Diogenes nitidimanus*

体長 約3cm  
羽毛状の触覚を使って水中の餌をキャッチする

- ◆触覚が羽毛状



- ◆ハサミの手の甲が短い



## コブヨコバサミ

*Clibanarius infraspinatus*

体長 約6cm  
2種に比べて大きい、オレンジ色のヤドカリ

- ◆茶褐色にオレンジ色の縁取り  
ゴツゴツして剛毛が生える



- ◆岩礁域には他にもヤドカリがいっぱい



ホンヤドカリ



ホシゾラホンヤドカリ



イソヨコバサミ

制作(2012年)  
DIV SCIENCE

WETLANDS  
INTERNATIONAL  
日本国際湿地保全連合

MS&AD  
MS&ADホールディングス

助成 日本財団  
The Nippon Foundation

この資料はポートレースの交付金による  
日本財団の助成を受けて作成しました。